

事業所における自己評価の結果（公表）

【児童発達支援事業】

公表：令和3年 5月 1日

事業所名 クオリティオブライフ子育て支援教室

チェック項目		はい	いいえ	改善目標・工夫している点
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		2部屋を使い、児童を分けたりして工夫している。
	② 職員の配置数は適切であるか	○		職員の人数も多い為活動を分けて行ったりすることができるようになった。また児童一人に対し職員が一人付くことが来るようになった。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		絵カードを用いて用途が分かりやすいように配慮している。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		掃除は細かく行っている。子供達の様子に合わせて2つの部屋を有効に使っている。備品等に関しては古くなり不都合や不具合のあるものを修繕・廃棄などもしている。
業務改善	⑤ 業務改善を図るためにPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		仕事のチェック表を用いて全員が分かるようにしている。
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		都度、保護者からの意見を周知して必要に応じてミーティングを行い改善を心がけている。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やHP等で公開しているか。	○		
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		
	⑨ 職員の資質向上を行うために、研修機会を確保しているか	○		できるだけ参加しようとしている。コロナ禍という事もありZOOMで参加できるものに参加している。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		モニタリング・評価表だけでなく支援計画に対するミーティングを時々行っている。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		担当を決めて行っているがどんなことを誰がやるのかまで把握し協力して行っている。
	⑮ 活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	○		担当者を設けて工夫して行っている。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		
	⑰ 支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		ミーティングを行って連絡事項等伝えるようにしている。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		日々のコミュニケーションやミーティングで1日の振り返りや気づき、今後必要な支援の内容について話し合い、共有している。
	⑲ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		ミーティングでも伝えている。
⑳ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		担当制になっており、より個人の計画で見直すタイミングが分かりやすくなっている。	
---	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害者のある子ども等を支援している場合)地域の保険、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携しているか	○		

事業所における自己評価の結果（公表）

【児童発達支援事業】

関係機関や保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害者のある子ども等を支援している場合)子供の主治医や協力医療機関と連絡体制を整えているか	○	
	㉑	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	保育園との連携を図っている。保護者を間にして質問等ある時には連絡が来るようになっている。
	㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか	○	事業所内にある認可外保育園の児童のみの関りである。
	㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	コロナ禍であり今のところ参加は難しい。しかし、いける時には出来るだけ参加している。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	送迎や登所の際に、声掛けたり話をしたりしている。
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○	
保護者への説明的責任等	㉘	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	
	㉙	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	
	㉚	定期的に、保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	保護者の悩みについて話しを聞きアドバイスを行っている。職員間でも相談された内容について話し合いお互いの意見交換も行っている。
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	コロナ禍であり今のところ開催は難しい。
	㉜	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応されているか	○	
	㉝	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	
	㉞	個人情報に十分注意しているか	○	
	㉟	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	
	㊱	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	コロナ禍でイベントの開催が難しい。
	非常時の対応	㊲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○
㊳		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	小さな子供でも分かりやすいように工夫して行っている。
㊴		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○	預かった薬は冷蔵庫で保管をしている。予防接種した際も名簿に日付を残している。また、ミーティングで周知したり対応の訓練も行っている。
㊵		食物アレルギーの子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	アレルギーのある児童はアレルギー表をもらい毎月保護者から食べる際の昼食メニューを受け取っている。
㊶		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	ヒヤリハットは一覧になっており必ず目を通してもらうように事務所に置いてある。
㊷		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか	○	
㊸		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	